



まつざき淑子の議会報告

<http://matsuzakiyoshiko.seikatsusha.me/>

【第1回臨時議会・第2回定例会報告】

- 補正予算第2～4号可決しました
- 長引くコロナの影響対策として、非課税子育て世帯の子ども1人につき5万円の生活支援特別給付金が支給されます、一人親家庭は4月に、2人親家庭は7月に振込、今年に入り非課税水準になった世帯は申請により支給されます。
- 非課税者と困窮一人親家庭の児童に一人当たり5000円分の生活応援プレミアム商品券の配布が決定。8月発送予定です。
- 市役所2階こまYELL窓口にて生理用品(夜用+昼用で1パックずつ)無料で配布しています🌸公共施設の女子トイレなどのポスターでもお知らせしています。
- 東京都出産応援事業として、2021年1月～2023年3月31日生まれの赤ちゃん👶に10万円分の子育て金券が配布されます。
- 東京都予算で、中学校部活動指導員が13名に増えます。
- エコルマホールと狛江駅北口地下駐車場の改修工事事業者契約を承認しました。老朽化対応とおむつ替え・授乳スペースの新設、駐車場は利用状況と経費削減から機械式を廃止、すべて平置きになります。リニューアルオープンは2022年12月予定
- 「直ちにオリンピック・パラリンピックの中止を断念し、コロナ収束に全力を求める意見書」に賛同しましたが、賛成少数で否決🙄
- 「女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた環境整備を求める意見書」賛同し、賛成多数で可決👍

【一般質問】

1. 狛江の緑を守る計画について

～一人当たりの公園面積は東京都市部最下位🙄
生産緑地の公共地化を！

東京都の人口一人当たりの平均公園面積(2019)は5.37㎡(市部平均は7.64㎡)ですが、狛江市は1.55㎡で、市部で最下位、23区と合わせても少ないほうから三番目です。営農が続けられなくなった生産緑地は都の補助金や緑化基金を活用して、市民農園や公園の種地として買い取り、緑を守っていく積極的かつ具体的な計画を立てることを要望しました。来年度の新都市計画マスタープランに盛り込むとのこと。

2. HPV(子宮頸がん)ワクチンについて

～情報提供と学校・家庭での話し合いを

昨年9月と本年5月、高校1年の女兒家庭にHPVワクチンの案内が送付されました。2013年4月に子宮頸がんワクチンは公費で定期接種となりましたが、重篤な副反応報告が相次ぎ、わずか2ヶ月後の6月に厚生労働省はこのワクチンの積極的勧奨を中止。その後ワクチンの改善、様々な副反応の治療法もなく、被害者への賠償も不十分なままです。狛江市は家庭でのワクチン接種を検討する機会提供として、接種に必要な「予診票」は同送せず、申請の上渡すこととし、案内の手紙や市のホームページには国の勧奨中止を掲載、ホームページにはワクチン接種を希望しなかった方へ子宮頸がん検診案内が記されており、これは有効と考えます。子宮頸がんは前がん段階の早期発見と適切な治療で罹患率・死亡率を80%まで抑えられると言われていています。ワクチンのリスク(いまだ積極的勧奨中止であること)の情報を届けること、20歳代の定期検診受診率アップのための工夫を検討することが大事です。HPVは性感染症であることの周知と、自分と相手の心身を尊重するための学校教育の場での人権教育としての性教育の必要性を質しました。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail komanet.seikatusya@nifty.com